



## 計算の書

### ★途中の式で、見直しもバッチリ!

計算問題は、「答え」を書いて終わらせるのではなく、途中の式(計算過程)をしっかり書くことが大切です。自分の答えが間違えていた場合、どこで計算ミスをしたのかをチェックすることができます。

無事に「正答」という山の頂にたどり着くためにも、途中の道のり(計算過程)を一步一步確実に進みましょう。

① 横に計算を書く場合

$$3 \times 5 + 6 \div 2 = 18$$

$$3 \times 5 + 6 \div 2 = 15 + 3 = 18$$

ここが大事です!

② 筆算で計算する場合

$$\begin{array}{r} 56 \\ \times 24 \\ \hline 224 \\ 112 \\ \hline 1344 \end{array}$$

ここは、しっかり位をそろえて書くことが、計算ミスしないポイントです。

③ 計算のきまり

『計算のきまり』は、とても大切です。答えをまちがえてしまった時は、このきまりを見直してみましょう。

【原則】

- (1) 計算式は左から順番に計算する。
- (2) ( ) のある計算式は ( ) の中を先に計算する。
- (3) かけ算・わり算は、たし算・ひき算より先に計算する。

